

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第2号を送付します。

平成16年度病虫害発生予察注意報第2号

平成16年10月1日

高知県病虫害防除所

病虫害名 シルバーリーフコナジラミ

1. 対象作物 ナス、ピーマン・シシトウ、トマト（施設栽培）
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 9月中旬以降
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) 9月4～5半旬に実施した巡回調査では、県東部の促成ナス、ピーマン（収穫前～収穫初期）での発生面積は多く、寄生株率も高い。また、県中央部の促成ナス（定植～収穫前）でも寄生株率は高くないものの、発生面積は多めである（表）。
 - 2) 他地域を含め施設果菜類全般についても、聞き取り調査などでは育苗から定植期にかけ購入苗を中心に発生が目立っている。
 - 3) ナス、ピーマン・シシトウでは天敵導入を行うハウスが増加しており、導入後は薬剤防除が制限されるため、本ぼ初期の薬剤防除が重要となる。
 - 4) ピーマン・シシトウでは本虫の寄生による果実の白化（退色化）症状が見られる場合があり、品質低下が懸念される。
 - 5) トマトでは本虫が媒介する黄化葉巻病（TYLCV）の発生が県中央～西部の海岸平坦地帯で確認されており、今後、発生の拡大が懸念されている。
 - 6) 向こう一ヶ月の気象予報では気温は高く、日照時間は平年並と予想されており、今後も密度の上昇が予想される。
6. 防除対策
 - 1) 育苗期からの薬剤防除などにより、苗からの本圃への持込を防ぐとともに、定植時の粒剤処理など低密度時からの防除を徹底する。なお、薬剤抵抗性発達回避のため同一系統の剤の連用は避ける。
 - 2) 施設開口部への防虫ネット（1mm目以下）被覆、ほ場周辺の除草（播種、定植前から実施）、可能な作物での近紫外線カットフィルムの利用など成虫の侵入防止に努める。

表：促成ナス、ピーマンでのシルバーリーフコナジラミの発生状況（2004年9月）

	促成ナス		促成ピーマン	
	発生面積(ha)	寄生株率(%)	発生面積(ha)	寄生株率(%)
東 部	229.5(26.8)	6.8(1.3)	23.3(7.9)	5.7(0.8)
中央部	45.9(31.2)	17.3(29.2)	—	—

ナス栽培面積：東部 287ha、中央部 59ha ピーマン栽培面積：東部 35ha () 内は平年値